



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成29年3月24日 第57号

発行者：校長 伊藤 俊

## －平成28年度 修業式－

平成29年3月24日 校長 伊藤俊

おはようございます。ここに集まったみんなはそれぞれ、2年生、3年生進級が決まった人たちです。おめでとうございます。

さて、火曜日の新聞に国連が発表した世界幸福度国別ランキングが載っていました。1位ノルウェー、2位デンマーク、3位アイスランドなど北欧の国が上位でした。福祉面、自由さ、寛容さ、正直度合、健康、所得などの分野を総合的に判断したものだそうです。日本はイタリアに次ぐ51位。もっと高いのではと個人的には思いました。所得が高い先進諸国の差は心が健康かどうか、人間関係が良好かどうかの差が大きいということでした。日本は、精神的に病んでいる人や、人間関係が難しいということなのかなと考えてしまいました。

冬休み前の全校集会の時に、内海先生から私自信が褒められました。たしか、分かりやすく話してくれるという内容だったかと思います。50歳過ぎて、褒められるとうれしいですね。その日は家に帰ってからもうれしく、気分よく過ごしました。褒められた記憶は残るんですね。これは年齢に関係なく、みんなと同じです。褒められるとうれしいですね。自分のやったことが認められた、ちゃんと相手に伝わっているんだということが分かります。特に親しい人や身近な人、上の人に褒められると、うれしさも増して、さらに頑張ろうという気持ちになります。

みんな、最近他人をほめたことはありますか。人を褒めることはそんなに難しいことではないかと思いますが、多少の勇気とコツが必要です。おそらく内海先生は、全校集会の場で校長を褒めていいのかなという、思いもあったと推測できます。でもそこは思い切って話してくれたのだと思います。これが多少の勇気だと思います。また、なんでも褒めれば良いわけではありません。その本人が気にかけて、力を入れている事柄、頑張っている内容を見極めて褒めなければならないと思います。そうでないとしたらのお世辞に聞こえてしまいます。これがコツだと思います。

青山学院の駅伝部の監督、勝てなかった青学を箱根駅伝で連覇をするまでに指導した方ですが、選手を褒めるのが非常に上手いと聞いたことがあります。部内の人間関係もスムーズになり、選手もその気になって頑張る。インタビューでも自分の選手たちを褒めている姿を見るとこちらも気分が良くなります。

是非みんなにも褒めるが側になっていただきたいと思います。クラスメート、チームメートが頑張っている時、家族が頑張っている時、その姿を見たら褒めてやりましょう。「お前、最近勉強頑張ってるな」「おふくろの弁当うまいぞ」でも良いです。言われた方は、非常にいい気分になります。身近な人から認められることは何よりうれしいし、幸せな気持ちになります。さらに頑張ろうという大きなエネルギーになります。相手を非難したり、批判するのではなく、褒めることの方が何十倍も人を育てることになると思います。そうすれば人間関係が良好になり、心を病む人もいなくなるのではないかと考えます。

是非みんなも褒め上手になってください。学びやすい西高や、もっと暮らしやすい日本になると思います。我が国の幸福度ランキングも上がると思います。私自身もみんなの良いところをもっと見出せるようになりたいと思います。

年度末、今年度やり残したことが無いように締めくくってほしいと思います。以上です。

## －国公立大中期・後期合格－

3年4組 八木 淳太 さん

中期：「高崎経大・(経)」、後期：「福島大・(経)」

3月21日うれしい報告がありました。3年生の八木さんが中期で高経大。後期で福島大に合格しました。前期が不合格の後も、諦めずに最後まで粘っての合格は大変価値のあるものです。おめでとう。後輩諸君にも一言いただきました。

○振り返ってみれば、西高に合格したのも後期選抜でした。今回は前期の出来が悪かったので、前期の次の日からすぐに切り換えて勉強に集中しました。古典などは3年生になってからの西高の考査対策がそのまま受験対策になりました。受験と学校の授業は別々のものではなく、西高での授業を真剣に受けていればセンターや国公立の二次試験にも十分対応できます。是非みなさんも頑張ってください。

